

講演概要

14:00-15:10 演題 フラワーツーリズム ‘個性と強みを生かした誘客戦略’		
講師	講師紹介・経歴	講演内容
 <p>(株)足利フラワーリゾート 代表取締役社長 早川 公一郎 氏</p>	<p>出身: 栃木県足利市 生年月日: 1980年11月19日生 最終学歴: 成城大学</p> <p>役職等: (株)足利フラワーリゾート 代表取締役社長 両野工業(株) 代表取締役社長 (株)早川農園 代表取締役社長 足利商工会議所 議員</p> <p>委員会等: 内閣府クールジャパン人材育成検討会委員 日本商工会議所 地域インバウンド推進 ワーキンググループ 委員</p> <p>※両野工業(株)はスポーツクラブ・スイミングスクール運営 ※(株)早川農園は不動産賃貸業</p>	<p>近年、日本においては観光産業が活発化し、重要な国の基幹産業になりつつある。その中で国内のお客様だけではなくインバウンド観光も驚くペースで成長をし、今後大都市のみならず地方都市が観光で担う役割は大きくなっている。また今後の少子高齢化・人口減少社会に対応していくために地域としての資源を磨き上げ活用していくことは都市間競争の中で必須になっていく。</p> <p>あしかがフラワーパークは開園20周年を迎え、現在では年間150万人を国内、そして世界から集客している。2014年にはCNN「世界の夢の旅先10選」に日本で唯一選ばれ、現在の有料の花の観光施設においては業界で1位を維持している。但し20年常に良い状況ではなく、どちらかという厳しい時期の方が長かった中で、如何にして今の状況まで成長することが出来たのか。</p>
15:20-16:30 演題 自産自消のある生活が世界の農業を変える?! / 2020年の日本の農業未来予想図		
講師	講師紹介・経歴	講演内容
 <p>株式会社マイファーム 代表取締役 西辻 一真 氏</p>	<p>1982年 福井県生まれ</p> <p>2006年 京都大学農学部卒業</p> <p>2007年 株式会社マイファーム設立</p> <p>2010年 農林水産省政策審議委員就任</p> <p>2014年 内閣府国家戦略特区農業特区委員就任</p> <p>2016年 総務省「ふるさとづくり大賞」優秀賞受賞</p>	<p>①「自産自消のある生活が世界の農業を変える?!」 自産自消のある生活とはどんな生活かということからそれが広がった時の社会の変革や農業界に与える影響を説明します。</p> <p>②「2020年の日本の農業未来予想図」 ビジネスとして農業界で活動しながらも、政策立案や政策審議委員を務め日本の農業に関わっていることで得られる最新の農業トレンドや未来の世界の農業の勢力図などをお話します。</p>
16:40-17:50 演題 「官から民へ」政策で市民公園の運営が変わる今、花と緑の価値をどのように高めてゆくか		
講師	講師紹介・経歴	講演内容
 <p>株式会社 日比谷花壇 代表取締役社長 宮島 浩彰 氏</p>	<p>1968年生まれ 東京都出身 青山学院大学卒</p> <p>大手不動産会社などを経て、97年日比谷花壇に入社し、取締役に就任。経営企画、EC事業構築などを経て、2000年に代表取締役社長に就任。</p> <p>同年、全国の生花店をインターネットでネットワーク化した加盟店事業を行う(株)イーフローを、04年には葬儀事業を立ち上げ、現在は(株)イーフロー取締役会長も務める。</p> <p>11年 一般社団法人指定管理者協会 理事、 14年 一般社団法人『花の国日本協議会』副理事長(代表理事)就任。</p>	<p>平成15年に「新しい公共」の概念の下、公共施設運営に民間の知恵を取り入れる「指定管理者制度」がスタートしました。</p> <p>公園行政も例外なく、国営公園を始め、自治体が保有する公園施設の多くが、企画を含めて民間に運営委託されています。</p> <p>社会構造が激変する昨今、公園は、園内の庭園や植物園などハードの魅力で集客することのみならず、地域の財産として、地域コミュニティの活性化や、地域の交流拠点として賑わいづくりに資するよう、より多面的かつ有益な活用が求められています。</p> <p>この変革期に、当社が何を狙い、どのような戦略で、花と緑の存在価値を高めようとしているのか? 地域の発展に資する公園とはどうあるべきか? を一緒に考えてゆきます。</p>